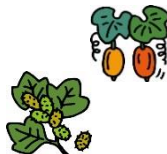




園だより 11月号

令和2年10月30日
睦沢町上之郷1736
睦沢町立睦沢こども園
0475-44-0050



日に日に秋が深まり、戸外遊びが気持ちよく感じられます。子どもたちは運動会を経験し、体を動かす楽しさを感じながら友達と戸外遊びを楽しんでいます。

運動会では新型コロナウイルス感染拡大防止の検温・消毒など御協力頂きありがとうございます。保護者の方の御協力で無事に運動会を開催することができました。今後の行事等でも、変更や御協力を頂くことがあるかと思いますが、よろしくお願いします。

運動会の後、園庭で「うんどうかいごっこ」をしました。今年の運動会では経験できなかった綱引きや玉入れ、大玉転がもしました。遊戯では、4歳児の剣や、5歳児のパチを他の学年の子どもたちが持って踊る姿が見られました。0・1・2歳児も一緒に体を動かして、曲のリズムを感じていました。

職員室の前に身長を測れるポスターが貼ってありますが、4歳児の子どもが欠席届を届けにきた帰りに、友達同士で測っていました。「足をそろえるんだよ。」「頭の所で測るんだよ。」と話しており、毎月の身体測定を経験したことを友達と話したのではないかと思います。その後、2人で身長を測って嬉しそうにクラスに戻っていききました。園での生活の経験が、見られた場面でした。御家庭でも、そのような場面を探してみるのはいかがでしょうか。

11月のねらい

0歳児・戸外遊びや散歩で体を動かす楽しさを感じながら、伸び伸びと過ごす。

- ・保育者と一緒に合わせて体を動かし、表現することを楽しむ。

1歳児・秋の自然に触れながら、戸外遊びや散歩をすることを楽しむ。

- ・友達や保育者と一緒に、体を伸び伸びと動かすことの楽しさを味わう。

2歳児・保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でする。

- ・戸外遊びや散歩で秋の自然に親しみ、自然物を使った遊びを楽しむ。

3歳児・生活の中で必要なことを自分で行おうとし、自分でできたことを喜ぶ。

- ・友達の思いに気付き、友達と一緒に同じイメージで遊ぶ楽しさを味わう。
- ・身近な秋の自然物に触れて発見を楽しんだり、遊びに取り入れたりすることを楽しむ。

4歳児・冬の生活に向けて必要なことが分かり、自分で進んで行く。

- ・自分の思いやイメージを伸び伸びと表現することを楽しむ。
- ・身近な自然に親しんで、秋から冬への季節の移り変わりに気付いたりする。

5歳児・友達と共通の目的をもち、互いの思いや考えを伝え合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わう。

- ・試行錯誤しながらイメージした物を作り、様々に表現することを楽しむ。
- ・季節の変化を感じながら気付いたり、調べたりして興味・関心を深める。



2歳児(こあら組)の姿

日中、体を動かすのにとてもよい季節になりました。戸外に出て秋の虫を探したり、散歩に行き、どんぐりや木の実・落ち葉を拾って、秋の自然に親しめるようにしています。

晴天に恵まれた運動会では、入場行進や閉会式・体操・親子競技に参加し、保護者の方と触れ合いながら、笑顔で最後まで取り組んでいました。とてもかわいい動物の親子で参加することができました。

給食では、完食できる子どもが多くなりました。苦手なものにも挑戦する子どもも増え、自分でフォークを使って、楽しく食べており、ピカピカになったお皿を嬉しそうに見せてくれます。食材を伝えながら、食べるのが楽しくなるような時間にしたいと思います。

5歳児(ほし組・つき組)の姿

こども園最後の運動会に向けて、係の仕事や遊戯、競技に一生懸命に取り組んできた子どもたちは、自分たちが考えたテーマのとおり、一人一人が自信をもって、最後まで諦めない気持ちを大切にしながら参加することができました。「力強く見せるにはどうしたらいいか?」「勝つためにはどうしたらいいか?」と遊戯やリレーについて毎日話し合いながら進めました。運動会での子どもたちの姿はどの場面においても立派でしたが、当日に至るまでの経験を大切に、残りの園生活を学年全体で楽しみ、充実させていきたいと思っています。

先日、睦沢小学校の見学に行ってきました。初めて小学校という場所に触れる子どもがいましたが、教室や体育館、校庭、また授業風景を見学し、教材や施設の大きさや高さの違いに気付く、近くで見る小学生にドキドキしているようでした。小学校をより身近に感じ、就学への期待をもつことができたようです。



晴天に恵まれた運動会。限られた競技数でしたが、子どもたちは自信をもって遊戯や競技に参加していました。特に、親子競技では、子どもたちの笑顔がたくさん見ることができ、お家の方々と一緒に競技に参加できたことが嬉しかったようでした。5歳児は、こども園最後の運動会でしたが、友達と一緒に活き活きと活動していました。



わくわく広場

手を洗おう！

日 時:11月17日(火)
10:00~11:00

対 象:未就園児

場 所:子育て支援室

内 容:楽しく手を洗います。

10月、11月生まれの誕生会

睦沢こども園にお申し込み
ください。

お待ちしております。

TEL0475-44-0050



園庭開放

おはなしの広場

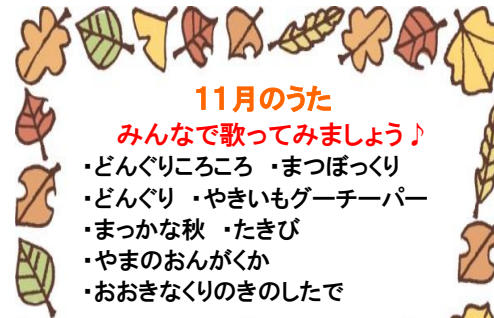
日 時:11月10日(火)9:50~11:00
おはなしの広場11:00~11:30
11月24日(火)9:50~11:30

対 象:未就園児

場 所:睦沢こども園園庭・子育て支援室



3歳児が築山の上で毎日取り組んでいるラジオ体操をしていました。



11月のうた

みんなで歌ってみましょう！

- ・どんぐりころころ ・まつぼっくり
- ・どんぐり ・やきいもグーティーパー
- ・まっかな秋 ・たきび
- ・やまのおんがくか
- ・おおきなくりのきのしたで

運動会ごっこの様子です。5歳児が2歳児と手をつないで、一本橋を渡らせてあげたり、みんなで遊戯を踊ったりしました。宝物を乗せた船を友達と引っ張っていましたが、宝物を積みすぎて落ちてしまったり、船の進む方向が違い、「こっちだよ。」といいながら進めたりしていました。



子育てハッピーアドバイス♡

子どもはたくさん甘やかせましょう。甘やかせるってこんなこと！

「ギュッと笑顔で抱きしめる」ギュッと抱きしめると、どんな言葉で表現するより、たくさんの思いが伝わります。子どもから求められていないのに抱きしめることだってアリです。嬉しいときも、泣いているときも抱っこ。子どもが感情を爆発させて止まらなくなったときは、背後から包み込むように抱っこします。

「話しかける。わからなくてもたくさん話しかける」言葉が分からない赤ちゃんに声を出して話しかけていると、不思議なことにお母さんの孤独もいやされるのです。「おむつが新しくなってきたね」と話しかけると、気持ちいいという子どもの喜びを共有することになります。

「待つ。のんびり待つ」子どもってどうして真っすぐ歩かないのでしょうか。あちらこちらに寄り道しては、何かおもしろいことを見つけます。時間がないときはともかく、待てる時は待つ。これは甘やかして育てることの基本中の基本。簡単なようでじつはむずかしい、甘やかしの一つです。

「不安な気持ちを受け止める」「こわい」と立ちすくんだ子どもに「弱虫ね」なんて言っていないか。「こわいね～」とその気持ちを受け入れて、子どもと不安感を共有して、それから「大丈夫よ」と守ってあげる。守られているという安心感とともに子どもは「こわさ」を一つ一つ克服していきます。

「話を聞く。心の声も聞く」ママに何かを話そうと一生懸命な子どもの言葉。さえぎらずにゆっくり聞きましょうね。さみしい気持ち、悲しい気持ち、怒りや不満も「そうなの。悲しかったね」「さみしかったね」とまずは全部受け入れます。すると、子どもの心のモヤモヤは消えていきますよ。

「いっしょに笑う。手をつないで歩く。いっしょに遊ぶ」親のやることを子どもたちはよく見ていて、そして真似をします。親子で手をつないで歩き、いっしょに遊び、いっしょに笑う。子どもは一人で歩くことを望むまでは、手をつないでいっしょに歩きましょう。お風呂の入り方だって親を見ながら覚えていきます。

3歳までは思いっきり甘えさせなさい かわいがり子育て 児童精神科医 佐々木正美 著



5歳児が、転んで困っている2歳児の子どもを助けていました。年下の子どもの優しくするという心も成長しているようです。

0歳児:保育室の中で滑り台をしました。みんなで仲良く滑りました。ニコニコしながら嬉しそうに手を振ったり、滑ったりしていました。

4歳児ゆり組・すみれ組、1歳児あひる組が散歩にいきました。4歳児はどんぐりや、紅葉した葉っぱを拾いに玉垣神社にいきました。1歳児は、コスモスをみて秋の自然を感じながら歩きました。



ゆり組

すみれ組

ほし組

つき組

10月21日(水)4・5歳児が町内のあおば農園にいもほりにいきました。2回延期になりましたが、21日は秋晴れの中、いもほりをする事ができました。子どもたちは、土の中のさつまいもを見て、「先生。おいも見えてきた。」「大きいおいも採れた。」と笑顔で掘ったさつまいもを見せてくれました。収穫の喜びも感じながら、秋の自然に触れることができました。

